

鳥取 YEG 通信

TOTTORI
YOUNG
ENTREPRENEURS
GROUP

発行：平成29年8月15日
鳥取商工会議所青年部
総務広報委員会

鳥取商工会議所青年部通信

8

August 2017

平成29年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
会長 **福田 通拓**
株式会社 インテリア
フクタ

8月に入り暑い日が続いている今日この頃、皆さまにはお元気でお過ごしのことと存じます。この時期になりますとあちらこちらで納涼会の話がでます。最近では納涼という言葉を用いたイベントが数多く開催され、「納涼スイーツ・納涼カーニバル・納涼イルミネーション・納涼船・納涼家電・納涼歌舞伎・納涼ウォーキング……」などと使われています。納涼とつくづく涼しく感じられるのは不思議なものです。

さて、7月の例会は提言提案委員会が担当しました。この委員会は鳥取が豊かで住みよい郷土になることを願ってつくったもので、県政・市政・商工会議所について学び、商工業の発展のため会員の意見を発信しています。今回は「雇用促進、少子化問題、中心市街地活性化、等」というテーマで行政職員の皆様21名をお招きし、グループに分かれてテーブルディスカッションをしました。私が参加した「雇用促進」のグループでは、「今の求人票では求職する側と求人する側両者に与える情報が少ない」、「業界のPRが必要」、「高校生のうちから仕事に対する意識を高める必要がある」というような意見がでました。その中で求職者に求めるばかりではなく、企業自ら選ばれる会社に改善していく必要があるということに気づかされました。意見交換・官民の親睦と大変実りある例会になりました。7月20日には「505運動」と称し、開港50周年を迎える鳥取空港で鳥取「東京便」の5便化継続と星取県をアピールするチラシを配布しました。鳥取空港は、関東や世界に通じる空の玄関口として重要な交通

機関であり、鳥取の発展のために欠かすことができません。鳥取―東京便の5便化が定着し、より多くの観光客が美しい鳥取の星空を楽しめることを願うばかりです。また、今年も鳥取県出身の写真家・水本俊也氏が鳥取砂丘を舞台に家族写真を撮影する写真プロジェクト「小鳥の家族in鳥取砂丘」に協力いたしました。水本氏は鳥取県内外の力を招き、鳥取で自然の素晴らしさを体感してもらい、そこから巣立つ小鳥がまた鳥取に戻ってほしいという思いからこの事業を行ってまいります。「小鳥の家族」ではテント設置、撤去を手伝うのですが、なかにはテントではなく寝袋一つ砂丘に持って行き寝る方もいるそうです。鳥取に住んでいるのに思いもよらぬ発想に大変驚きました。水本氏が撮影した家族写真からは、親子の见えない絆が伝わってくるようで心が和みます。

お盆には鳥取の風物詩「しゃんしゃん祭」に参加しました。これは毎年の恒例事業で、会員間の交流と地域を盛り上げるために参加しています。今年は会員交流増強委員会が担当しました。YEGは一昨年から紫色の艶やかな衣装に身を包み、オリジナルの踊りを披露しています。今年は踊り子とスタッフを合わせ50名以上と過去最大人数での参加となり、暑さに負けず元気よく踊りました。皆で汗を流した後の慰労会はいつもの以上に盛り上がりました。この元気で今後もがんばってまいります。

もし、不要になったしゃんしゃん傘などをお持ちの方で、ゆずりつてもいいとお考えの方は左記連絡先までご連絡ください。

しゃんしゃん傘
ゆずりつてください



連絡先：鳥取商工会議所
中小企業振興部 地域振興課
TEL 0857-32-8004

7月例会・ふるさと鳥取いなばの風会議

日時 平成29年7月12日(水) 18:45～20:45
場所 鳥取商工会議所5F 会議室

7月例会は、提言提案委員会が主管となり「ふるさと鳥取いなばの風会議」と題し、21名の行政職員の皆さまをお招きして、グループディスカッションを開催しました。

行政職員様と鳥取YEGのメンバーが、お互いの立場・肩書きにとらわれることなく、官と民の壁を取り払い、お互いの「風通し」を良くし、「鳥取の商工の発展、鳥取をより良くしていく」ための情報・意見交換等、本音で交流する「場」を設けたいと思い、この「いなばの風会議」を企画しました。

雇用促進、災害対策、少子化問題、女性活躍推進、中心市街地活性化、滞在型観光、教育、暮らし向上、起業支援、若者定住の10のディスカッションテーマを設定し、グループ分けをしました。司会者は提言提案メンバーが務め、各テーマグループごとに60分間議論しました。そして終了後は、各テーマの司会担当が協議結果を発表。60分間という短い時間ではありましたが、どのグループも活発な意見が飛び交い、とても充実したディスカッションでした。本例会の様子は、鳥取YEGのホームページ内の提言提案委員会ブログをご覧ください。

終了後は、各グループごとに会場を移し、交流会を開催。交流会でも活発な意見交換・議論がなされ、行政職員様と鳥取YEGメンバー間の繋がりがさらに深まったと思います。この度いただきました貴重なご意見は、今後の提言提案委員会内で集約・協議します。オープン委員会開催等検討し、吹き初めた行政と鳥取YEG間の「涼風」を絶やすことなく、活動してまいります。

提言提案委員会
委員長 糸原 修



風会議に参加していただいた行政職員の皆さま



ディスカッションの様子

スキルアップ委員会オープン委員会
「これであなたも歯医者いらす」

6月22日、鳥取商工会議所会議室にてスキルアップ委員会オープン委員会「歯のトータルは命取り」を開催しました。今回の発表内容を考えるにあたり、私はいかに皆さまに聞いていただき、印象に残り、実践に役立てていただけたかを考えました。結果として物々しいタイトルになつてしまつたのは反省点です。しかしながら、多くの人に歯科の一番大事な部分を啓蒙しようという立場から発信できたことには大変満足いたしました。

当日は、かなり多くの聴講者の方がいたことには驚かされました。歯医者というところ、嫌なところ、痛い所というイメージがつきものでなかなか足を運ぶ機会がありません。しかも治療中になると、なかなか説明しようにも時間の制約もあつて説明できないことも当日はかなり広く説明できました。

まず、歯科に関する疾患などを説明させていただき、次に歯磨き指導を行わせていただき、次に歯磨き指導を行わせていただきました。あまり時間がなく多くの方がいらしたので、全ての方を手エックできたわけではありません。しかし、かなり多くの方がキレイに歯磨きができていたことにも気づかされました。歯に関する内容の発表に興味を持っていらつしやっているので、当然かなあと思いつながら拝見させていただきました。

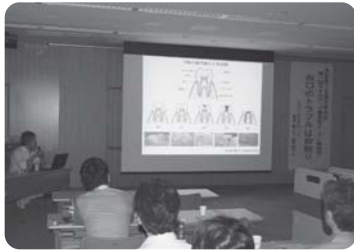
私達医療人は、疾患があれば治すのは当然ですが、疾患が起きないようにするに予防を第一と考えます。そのことを少しでも皆さまにお伝えできていれば幸いです。

まずは第一歩、歯医者さんにおかかりになるのはいかががでしようか？

スキルアップ委員会
Kアタラオフェイ院長 木下 裕也



オープン委員会の様子



オープン委員会の様子

新入会員研修

6月19日(月)、本年度入会の会員と、昨年度開催された研修会に参加していない会員を対象とし、平成29年度新入会員研修会を開催しました。鳥取YEGは本年度、会員が13名増え、総勢141名の過去最大の会員数になり、新入会員研修会の重要度が増えています。

新入会員研修会は、鳥取YEGの基本的事項、諸先輩の功績等を理解してもらい、これからの活動がしやすくなることを目的としています。監事と総務委員長を講師として、日本YEG及び鳥取YEGの組織や事業に関する説明、YEGでの経験談、YEGグループウェアの使用方法等について研修しました。講師として新入会員のメンバーが真剣に聞いてくれる姿に大変感銘を受け、頼もしさを感じました。今後、力強く精力的に活動してくれるだろうと期待しています。

研修会の後は、しゃんしゃん亭にて交流会を開催し、先輩会員と新入会員が親睦を深めました。これからも鳥取YEGを担っていくメンバーが楽しく活動できるように、先輩達から引き継いだものを伝えていければと思います。

鳥取YEG
監事 田中 健志



新入会員研修の様子

第1回鳥取YEGGOB合同
ゴルフコンペを開催しました。

6月25日(日)にOBの皆さんとの交流を兼ねて、「第1回鳥取YEGGOB合同ゴルフコンペ」を鳥取カントリー倶楽部の吉岡温泉コースで開催しました。今回はビジネスネットワーク委員会とゴルフ同好会の共同開催です。OBを含め会員間のビジネス交流の場を企画運営するビジネスネットワーク委員会と、昨年度より設立したゴルフ同好会の初のコラボレーション企画でした。OB4名を含む総勢20名がOUTとINで3組ずつ6組のコンペとなり、スパープレーを繰り広げました。優勝準優勝ともに流石OBの皆さんが受賞に盛り上がりました。コンペの後は「しゃんしゃん亭」に会場を移し、珍プレー!好プレーを話題に交流を深めました。ゴルフ同好会はまだまだ会員募集中ですので、初心者を含めてたくさんのご応募ご参加をお待ちしております。

ゴルフ同好会
会長 石毛 充之



表彰式の様子



参加メンバー

新入会員



江谷 俊郎 君
(えたとしろう)
事業所名 (株)エタニ企業
所属委員会 ビジネスネットワーク委員会



野藤 実 君
(のとうみのる)
事業所名 (有)野藤商店
所属委員会 提言提案委員会



森下一美 君
(もりしたかずみ)
事業所名 もりいち鍼灸接骨院
所属委員会 スキルアップ委員会

交代会員



津村 拓朗 君
(つむらたくお)
事業所名 (公財)鳥取県保健事業団
所属委員会 会員交流増強委員会